



入れよう



エピソード

友達が使っているものと同じビニール袋に A くと保育者と一緒に水を入れていると、楽しそうな2人の姿を見てBくんもやってきました。AくんはBくんのジョウロから出てくる水の動きを見ながらビニール袋で受け止めます。Bくんは何度も水を汲んでは袋に入れることを繰り返し、Aくんも水が入っていく様子をじっと見ていました。しばらく繰り返し、Bくんが水を汲みに行くのを待っている間にAくんはプールの水をすきました。すると下から水が漏れており、手で触って「割れてる!」とビニール袋の底に穴が空いていることに気付き、保育者に伝えました。保育者は「本当だ、割れているね」と話し、Aくんは「もう一個ちょうだい」と言いました。Aくんは新しいビニール袋をプールに入れて水をすきました。漏れていないことが分ると満面の笑みになり「ポヨンポヨン」と溜まったことを保育者と一緒に喜びました。

友達と同じものを使いたいという子どもの思いに合わせて、十分な数のビニール袋を用意することで一人一人のしたいことをじっくり楽しんでほしいと思いました。

楽しそうな保育者や友達の姿から刺激を受け、周りの友達も遊びに興味をもつきっかけになってほしいと思いました。

穴が開いていることを「割れてる」と表現した A くと同じ言葉を使って気持ち受け止めることで、A くんなりの言葉の表現を大切にしたいと思いました。

子どもの育ちや学び

- ・友達が使っているものに興味をもち、同じものを使おうとしています。
- ・Aくんは水が入っていく様子を目で追い、見ることを楽しんだり、こぼれないように受け止めたりしています。Bくんは水を入れる楽しさを感じ、汲んでは入れることを繰り返しています。A くと B くん楽しいことが違って一つの遊びの空間としてつながりがあります。
- ・繰り返し水を入れるなかで、ビニール袋に穴が開いていることに気付きました。
- ・自分なりの言葉で穴が開いていることを表現しています。

家庭だったら・・・

感じたことや気付いたことを自分なりの言葉で話す姿を受け止めてあげてください。大好きなお家の方がいることで「話したい!」「聞いてほしい!」という思いが出てくると思います。